

脳血管内治療ブラッシュアップセミナー2010

Brush-up Seminar of Neuroendovascular Therapy

&

East Asian Conference of Neurointervention 2010

BSNET

2010. 6.11 (Fri) ~ 6.12 (Sat)

神戸国際展示場

Kobe International Exhibition Hall

EACoN

2010.6.13 (Sun)

神戸国際会議場

Kobe International Conference Center

脳血管内治療技術と機器研究会 事務局

先端医療センター脳血管内治療科

神戸市中央区港島南町 2-2

URL: <http://www.bsnet.umin.jp/>

Brush-up Seminar of NeuroEndovascular Therapy

脳血管内治療ブラッシュアップセミナー2010

コースディレクター

坂井信幸（神戸市立医療センター中央市民病院、先端医療センター）
瓢子敏夫（中村記念病院）
宮地 茂（名古屋大学）

ファカルティ（50 音順）

飯原弘二（国立循環器病研究センター）	石井 暁（京都大学）
石橋敏寛（東京慈恵会医科大学）	泉 孝嗣（名古屋大学）
伊藤 靖（新潟大学）	江面正幸（仙台医療センター）
大石英則（順天堂大学）	片岡丈人（中村記念病院）
桑山直也（富山大学）	小林英一（千葉大学）
小林繁樹（千葉県救急医療センター）	小宮山雅樹（大阪市立総合医療センター）
近藤竜史（広南病院）	佐藤浩一（徳島赤十字病院）
佐藤 徹（国立循環器病研究センター）	杉生憲志（岡山大学）
滝 和郎（三重大学）	立嶋 智（UCLA Medical Center）
寺田友昭（和歌山労災病院）	津本智幸（日赤和歌山医療センター）
豊田一則（国立循環器病研究センター）	長島 久（信州大学）
永田 泉（長崎大学）	中原一郎（小倉記念病院）
新見康成（Rosevelt Hospital）	根来 真（藤田保健衛生大学）
根本 繁（東京医科歯科大学）	早川幹人（虎の門病院）
広畑 優（久留米大学）	兵頭明夫（獨協医科大学越谷病院）
藤中俊之（大阪大学）	松丸祐司（虎の門病院）
松本康史（広南病院）	村尾健一（城山病院）
村山雄一（東京慈恵会医科大学）	吉村紳一（岐阜大学）

コーススタッフ

足立秀光、上野 泰、坂井千秋、今村博敏、蔵本要二、石川達也、今堀太一郎、重松朋芳
千原英夫、篠田成英、松田佳子、稲田 拓、小倉健紀、柴田帝式
山上 宏、藤堂謙一、山本司郎、別府美奈子、吉田亘佑、坂口 学、小林潤也、尾原信行
酒井秀樹、東 登志夫、黒岩輝壮、間中 浩、石原秀行、梶川隆一郎、矢野達也、佐々木庸
嶋村則人、松島 聡、井上みほ子、金 春希、森垣雅子、澤田 宏、岩本宏朗、平松圭右

共催、協賛企業：（順不同、2010.5.10 現在）

朝日インテック（株）
アステラス製薬（株）
エーザイ（株）
エドワーズライフサイエンス（株）
エレクトラ（株）
大塚製薬（株）
カテックス（株）
協和発酵キリン（株）
グッドマン（株）
コーディス/J&J（株）
コッドマン/J&J（株）
小西医療器（株）
サノフィ・アベンティス（株）
シーマン（株）
シーメンス旭メディテック（株）
センチュリーメディカル（株）
セント・ジュード・メディカル（株）
武田薬品工業（株）
田辺三菱製薬（株）
中外製薬（株）
テルモ（株）
東海メディカルプロダクツ（株）
日本メジフィックス（株）
日本メドトロニック（株）
バイエル薬品（株）
萬有製薬（株）
ファイザー（株）
（株）フィリップスエレクトロニクスジャパン
富士システムズ（株）
ボストン・サイエンティフィック ジャパン（株）
ホワイットムーン（株）
宮野医療器（株）
メディキット（株）
メディコスヒラタ（株）
持田製薬（株）
横河医療ソリューションズ

脳血管内治療ライブデモンストレーションについて

われわれは、実際の治療を供覧しながら脳血管内治療の安全な普及を図ることを目的として、2002年に第3回近畿脳神経血管内治療学会のサテライトライブセミナーを開催し、多くの医師・コメディカルスタッフ・医療関係者に脳血管内治療の実際を学ぶ機会を提供しました。安全で有効な脳血管内治療を行う上で、ライブセミナーは非常に有用な企画だという意見が多く寄せられ、その運営組織として2003年に**脳血管内治療ライブカンファレンス(LCNET)**を発足させ、以来、2003年、2006年には名古屋脳血管内治療セミナーと共催でのライブセミナー、2004年、2005年はCCT-peripheralとの共催で神戸において脳血管内治療ライブセミナー2004, 2005を開催してきました。ライブデモンストレーションに対しては、いろいろな意見があることを承知しておりますが、参加する医師、医療関係者にとって、ライブデモは他に代え難い多くのことを学ぶ機会となります。ライブデモ中も普段と変わらない治療を行う環境を維持する治療者とそれに協力する関係者が実施する限り、協力していただく患者さんにとっても、適応・手技が公開され、またエキスパートが治療中に適時術者に与えるコメントがより良い治療結果を得ることに繋がる可能性があるなどのメリットがあります。本年より、デバイスの習熟に重点を置いた脳血管内治療デバイス&テクニックセミナー（大沼セミナー）と、術者教育に重点を置いた名古屋セミナーと合流し、**脳血管内治療技術と機器研究会**を組織し、**脳血管内治療ブラッシュアップセミナー**を開催することに致しました。

また、本年はこれまで中国と韓国の2国で行われていましたジョイントセミナーに我が国が合流して発足した東アジア脳血管内治療カンファレンス（East Asian Conference of Neurointervention: EACoN）を同時に開催し、東アジアの脳血管内治療の現状と今後について最終日にディスカッションしたいと考えております。来年は、2011年8月5日(金)-7日(土)に同じ神戸国際展示場で開催する予定です。本会の趣旨と意義をご理解頂き、変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

開催実績と予定

		開催日	併催学会	会場	中継	供覧	主題
1	脳血管内治療 ライブセミナー2002	2002.9.10 金	第3回近畿脳神経血管内治療学会(9.11 土)	神戸ポートピアホテル	神戸市立中央市民病院	Anx1 CASx2	
2	脳血管内治療ライブセミナー2003	2003.10.10 金	第3回名古屋脳血管内治療セミナー(10.11 土)	東海テレビ テレビピアホール(名古屋市)	神戸市立中央市民病院	CASx3	
3	脳血管内治療ライブセミナー2004	2004.10.20 水	Embolic Protection 研究会(10.20 水) CCT-peripheral (10.21 木)	神戸国際展示場	先端医療センター	Anx2 CASx4 SCASx2	安全に脳血管内治療を行うために
4	脳血管内治療ライブセミナー2005	2005.9.30 金	CCT-peripheral (9.29 木)	神戸国際会議場	先端医療センター	Anx2 CASx5 ICSx1	標準的手技を支えるちょっとした工夫
5	脳血管内治療ライブセミナー2006	2006.10.27 金	第6回名古屋脳血管内治療セミナー(10.28 土)	ナディアパーク・デザインセンター(名古屋市)	神戸市立中央市民病院 先端医療センター	Anx4 CASx2	
6	脳血管内治療ライブセミナー2007	2007.11.14 水	第23回日本脳神経血管内治療学会総会(11.15 木-17 土)	神戸国際展示場	神戸市立中央市民病院 先端医療センター	Anx4 ICSx1 VASx1 CASx3	
7	脳血管内治療ライブセミナー2008	2008.9.4 木	第8回近畿脳神経血管内治療学会(9.5 金-6 土)	神戸国際会議場	神戸市立中央市民病院 先端医療センター	Anx3 AVMx2 CASx2	もう一度基本から
8	脳血管内治療ライブセミナー2009	2009.6.12 金 -13 土		神戸国際展示場	神戸市立中央市民病院 先端医療センター	Anx5 AVMx2 CASx2	脳血管内治療のブラッシュアップを目指して
9	脳血管内治療ブラッシュアップセミナー2010	2010.6.11 金 -13 日	East Asian Conference of Neurointervention (6.13 日)	神戸国際展示場	神戸市立中央市民病院 先端医療センター	CASx4 ANx7	最新の機器をどう生かすか
10	脳血管内治療ブラッシュアップセミナー2011	2011.8.5 金-7 日		神戸国際展示場	神戸市立中央市民病院 先端医療センター		未定
11	脳血管内治療ブラッシュアップセミナー2012	2012.6.13 水 -14 木	Asia Australasia Federation of Interventional and Therapeutic Neuroradiology (6.14 木-16 土)	名古屋国際会議場	神戸市立中央市民病院 先端医療センター		未定

参会者の皆さんへ

- ライブデモンストレーションおよび発表スライド等の写真撮影やビデオ撮影(録画)、録音はできませんのでご注意ください。
- 術者・治療現場・モデレータ・コメンテータ・会場間の質疑応答は適時可能です。患者さんおよびご家族には、ライブデモンストレーションに関する説明を文書により行い、同意を得ておりますが、その内容に関しては、実際に治療を受けておられる局所麻酔下の患者さんであることに配慮して頂きますようお願い致します。
- 会場内での飲食は可能です。ドリンクコーナーに飲み物を用意していますので、適時ご利用ください。ランチョンセミナーの弁当の配布は会場後方で行います。
- 参会者へのメッセージは電話 078-302-2568（ただし 11 金,12 土のみ）または FAX078-302-1870 にて神戸国際展示場までお知らせ下さい。参会者には、会場画面に「### 先生メッセージが届いております。受け付けまでお越し下さい。」を表示します。

会場

BSNET と EACoN は異なりますのでご注意ください

BSNET 2010. 6.11 (Fri) ~ 6.12 (Sat)

神戸国際展示場 Kobe International Exhibition Hall

EACoN 2010.6.13 (Sun)

神戸国際会議場 Kobe International Conference Center



Time Table

2010.6.11 (金)	
0930-1300	テーマ1：複数デバイス時代を迎えて頸動脈ステントはどうなるか？ 新しいデバイスの使い分け、Plaque 診断をどう活用するか、など Precise PRO、Carotid Wallstent Angioguard RX、FilterWire EZ、PercusurgeGuardwire モデレーター： コメンテーター： 症例 私ならこう治療する 広畑 優、早川幹人、石井 暁 ライブデモンストレーション 4 例(KCGH/IBRI 同時中継) Case 1 Case 2 Case 3 Case 4 Key Note Lecture 1: フィルタープロテクションの功罪：津本智幸 Key Note Lecture 2: distal protection と proximal protection：小林英一 ラウンドテーブルディスカッション 「複数デバイス時代を迎えて頸動脈ステントはどうなるか？」
1300-1350	ランチョンセミナー(共催：大塚製薬(株)) 座長：永田 泉(長崎大学) 演者：吉村紳一(岐阜大学) 演題：脳動脈ステント治療における抗血小板治療の役割、RESISTER, CSPPS II などを交えて
1400-1730	テーマ2：これだけは身につけよう、脳動脈瘤塞栓術！ モデレーター： コメンテーター： 症例 私ならこう治療する 大石英則、近藤竜史、佐藤 徹 ライブデモンストレーション 3 例(KCGH/IBRI 同時中継) Case 5 Case 6 Case 7 Key Note Lecture 3: セットアップ、治療戦略の基本：片岡丈人 Key Note Lecture 4: 合併症とその対策：石橋敏寛 ラウンドテーブルディスカッション 「これだけは身につけよう、脳動脈瘤塞栓術！」

Time Table

2010.6.12 (土)	
0900-1230	テーマ3：ステント支援脳動脈瘤塞栓術とはどんな治療か？ モデレータ： コメンテーター： 症例 私ならこう治療する 伊藤 靖、杉生憲志、立嶋 智 ライブデモンストレーション 3 例(KCGH/IBRI 同時中継) Case 8 Case 9 Case 10 Key Note Lecture 5: Enterprise の構造と使い方：泉 孝嗣 Key Note Lecture 6: 症例から学ぶ Enterprise assist embolization： 新見康成 ラウンドテーブルディスカッション 「ステント支援塞栓術時代に何を期待するか？」
1230-1320	ランチョンセミナー(共催：バイエル薬品(株)) 座長：滝 和郎(三重大大学) 演者：宮地 茂(名古屋大学) 演題：認可後のCASの現状と問題点 一周術期の抗血小板療法を含めてー
1330-1700	テーマ4：新時代の急性再開通療法はどうなるか？ モデレータ：坂井信幸、瓢子敏夫、宮地 茂 Key Note Lecture 7: 脳虚血の病態生理：藤中俊之 Key Note Lecture 8: 再開通療法に必要な画像診断：長島 久 Key Note Lecture 9: rt-PA 静注療法の現状と今後：豊田一則 Key Note Lecture 10: failed iv-tPA 症例の診断と治療：吉村紳一 Key Note Lecture 11: これまでの再開通療法：局所線溶療法,血管形成術： 松本康史 Key Note Lecture 12: Merci の構造と使用方法：石井 暁 Key Note Lecture 13: Merci/Penumbra の使用経験：立嶋 智 Key Note Lecture 14: 再開通療法に関する最新の study review：松丸祐司 ケースカンファレンスを活用したラウンドテーブルディスカッション 「新時代の急性再開通療法はどうなるか？」